

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大音寺山 みんなの山づくり実践事業
事業主体 (連絡先)	浅間温泉遊歩道木の絆会 0263-46-1500
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,552,862円 (うち支援金: 859,000円)

事業内容

1. 遊歩道の整備
遊歩道に構築した「花木を楽しむエリア」他4つのエリアの草刈りや急斜面等の緩和作業実施。
2. 植樹会の開催
地元住民、ロータリークラブ、留学生等を含め、植樹会を4月と11月に実施。
延べ約180人の参加を得て、サルスベリ等計200本を植樹。
3. 環境整備
遊歩道内に道標を設置し、利用者の利便性を図るとともに、池を設置し景観と水くれ時の作業効率の向上を図った。



【11.6 植樹会】

【目標・ねらい】

- ①里山の再生 (山林火災)
- ②観光客の増加
- ③健康寿命の延伸
- ④住民の絆を深める

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 植樹により、火災により焼失した山が再生しつつある。また、草刈や枝打ちを行うことにより、松本市に3か所ある風致地区として相応しくなっている。
2. 環境整備を実施したことにより、温泉の観光客等にも分かりやすくなり、観光スポットになりつつある。
3. 地元福祉ひろばが、ウォーキングイベントを開催し、参加した高齢者等の健康に寄与した。
4. 作業を通して住民相互が深まり、里山に対する関心が高まった。

※自己評価 【 B 】

【理由】

山の再生と、景観整備に効果があり、観光スポットになりつつある。作業を通じ住民同士の絆が深まり、ウォーキング等健康維持の場としても利用されている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・ハード事業については、市民や観光客がより山に親しめるよう、急斜面の緩和等さらなる遊歩道整備やサインの設置等きめ細やかな環境整備が必要。
- ・ソフト事業については、植樹会、ウォーキング等参加者の拡大を図るための周知活動の徹底を図り、広報活動を活発化し絆の輪を広げていくことが必要。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある